

# パラメータ設定ユーティリティソフトウェア MetroSET<sup>®</sup> 2 簡易ガイド



[illegible]

1. 本書の内容に関しては、将来予告無しに変更することがあります。
2. 本取扱説明書の全部又は一部を無断で複製することはできません。
3. 本書内に記載されている製品名等の固有名称は各社の商標又は登録商標です。
4. 本書内において、万一誤り、記載漏れなどお気づきのことがありましたらご連絡ください。
5. 運用した結果の影響について、責任を一切負いかねます。

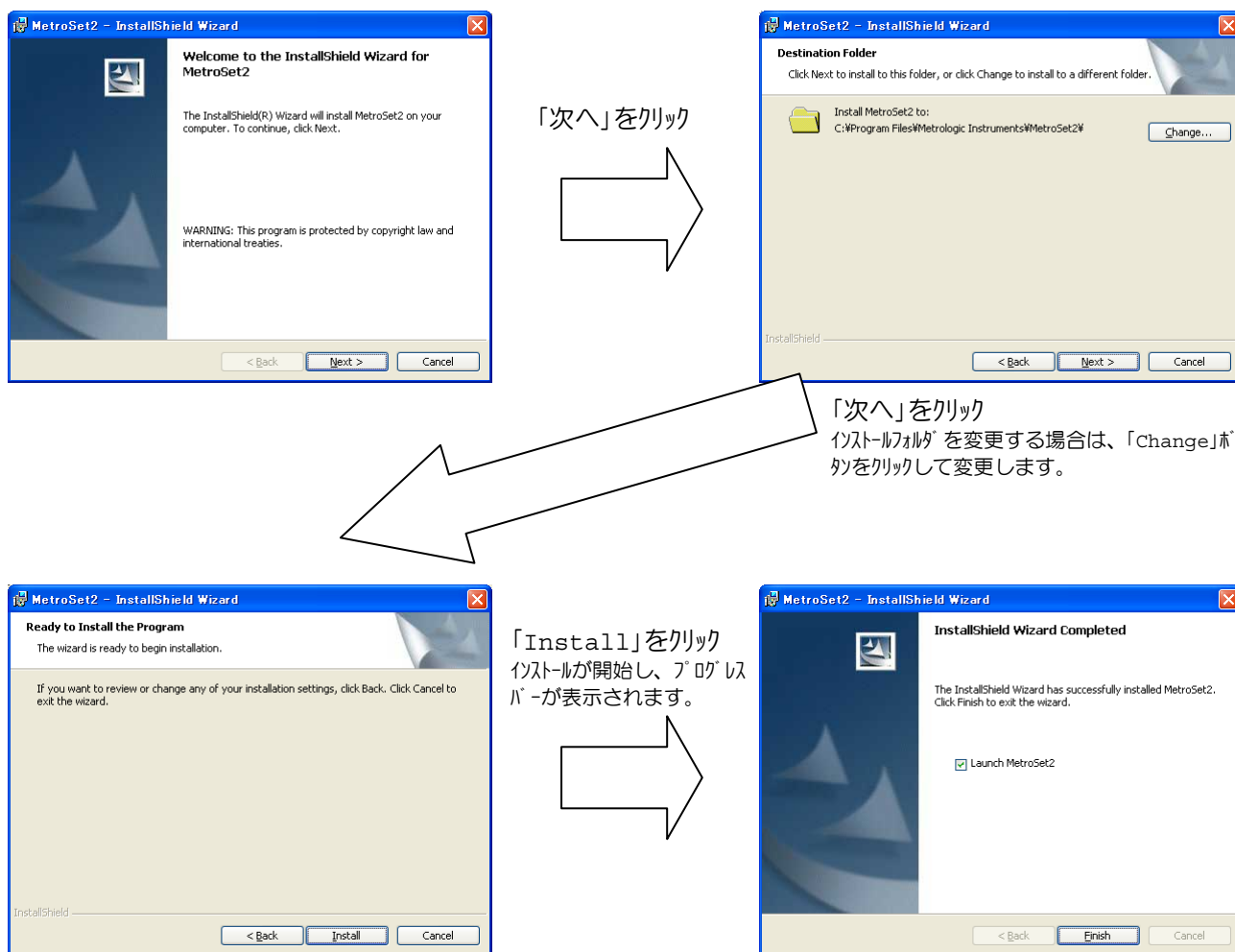
# INDEX

1. PC にインストールする .....	5
2. 使ってみましょう .....	6
2.1. 立ち上げる .....	6
2.2. メイン画面の説明 .....	7
2.2.1. メニューとアイコン .....	7
File メニュー .....	7
Com Interface メニュー .....	7
Scanner Selection メニュー .....	8
Option メニュー .....	8
Tools メニュー .....	8
2.2.2. 設定項目 .....	12
2.3. 設定してみよう .....	13
インターフェイスの設定 .....	13
バッファの設定 .....	13
JAN13 の設定 .....	14
サフィックスの設定 .....	14
コード以外の設定 .....	14
データ編集の設定 .....	15
予約済み特殊コードの設定 .....	16

Blank page

## 1. PC にインストールする

弊社 WEB サイトより、metroset2.exe をダウンロードし、ご使用の PC で実行します。手順は下記の通りです。

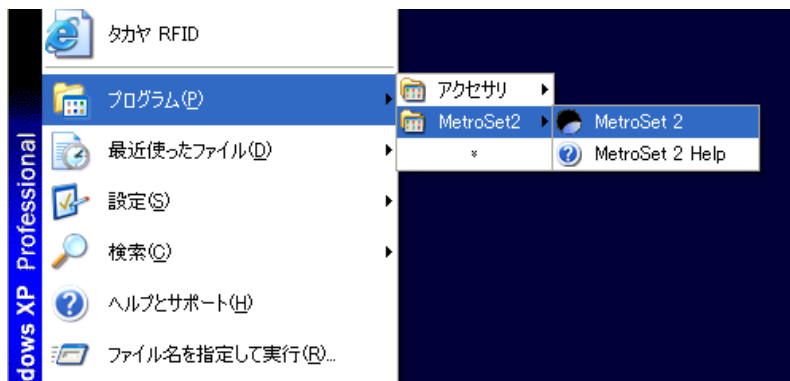


※ MetroSet2 は、PDQComm.ocx を使用しています。MetroSet2 をインストールすると、異なるバージョンの PDQComm.ocx を使用している他のアプリケーションが正しく動作しなくなる場合がありますので、予めご了承の上、ご利用をお願いします。

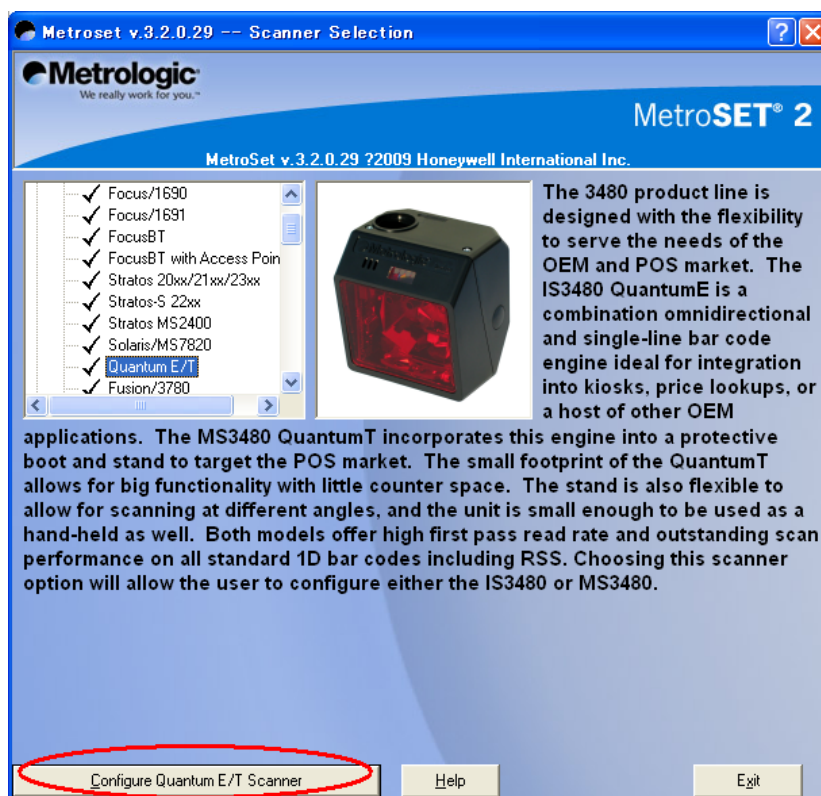
## 2. 使ってみましょう

### 2.1. 立ち上げる

スタートメニューから MetroSet2...MetroSet2 を選択し、ソフトウェアを立ち上げます。

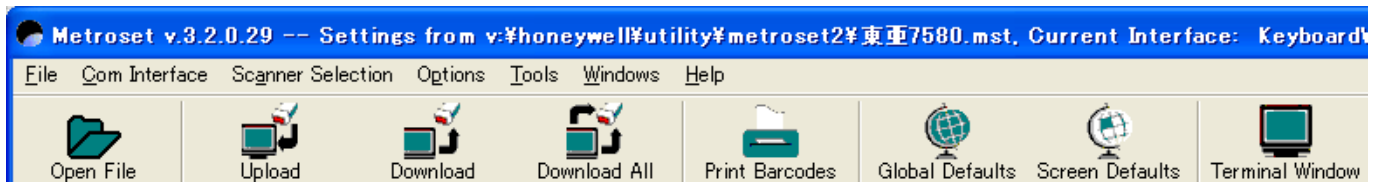


最初の画面で、設定の対象となる機種を選択し、「Configure」ボタンをクリックします。下記の例では、Quantum E/T を選択しています。(Quantum E/T には、MS3480/MS3580/IS3480 などが含まれます)




## 2.2. メイン画面の説明

### 2.2.1. メニューとアイコン



#### File メニュー

**Open** 

設定ファイルを読み出します。

**Save as...**

編集集中の設定に名前を付けて保存します。保存できるファイル形式は、下記の通りです。

- Metroset (\*.mst) : デフォルト
- Quickset (\*.qsc)
- PDF ファイル (\*.pdf)

通常は、Metroset (\*.mst) デフォルトで保存してください。

**Print Configuration Barcodes**



編集集中の設定をマトリクスコード化して印刷します。リーダーで印刷したマトリクスコードを順番に読み取ることで、目的の設定値に変更することができます。

**Back to Scanner Selection**

リーダーの機種選択画面に戻ります。

**Exit**

Metroset2 を終了します。

#### Com Interface メニュー

リーダーと接続する COM ポート番号を設定します。

**Com Port 1**

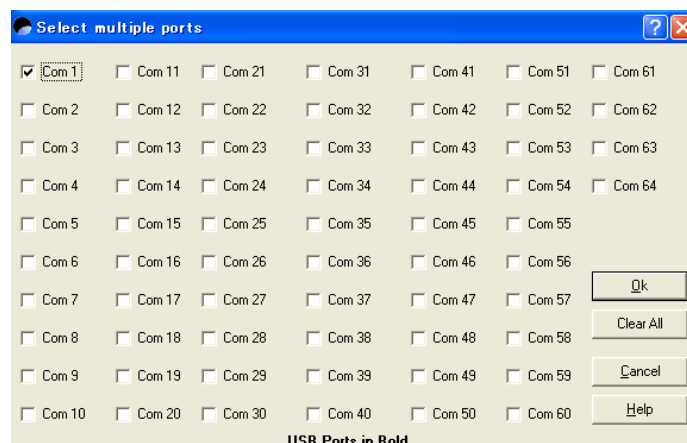
Com1 を選択します。

**Com Port 2**

Com2 を選択します。

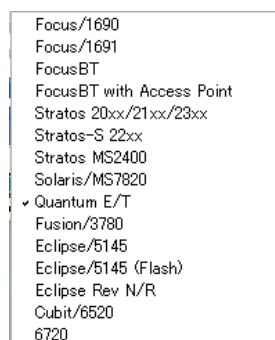
**Mutiple/Other**

Com1~Com64の中から1つのCOMポート又は複数のCOMポートを選択します。



## Scanner Selection メニュー

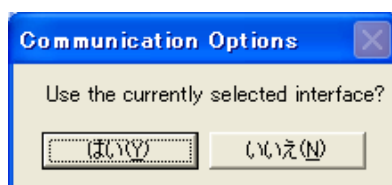
設定を行いたいリーダ機種を選択します。



## Option メニュー

### Confirmation Prompts

設定変更などを行った際の確認メッセージなどを表示したい場合は、チェックします。



### Print Bar Codes w/ Descriptions

設定用マストバースコードを説明付で印刷したい場合は、チェックします。

### Print Data Parsing Codes Only

データ編集 (Data Parsing) 設定マストバースコードのみを印刷したい場合は、チェックします。

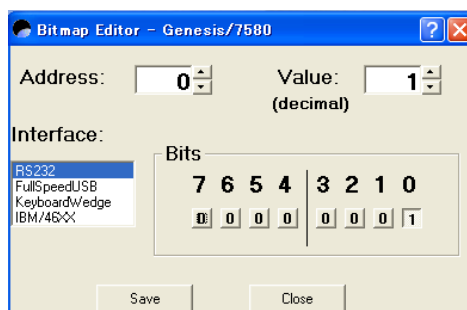
### Always Print Ext Parsing Barcode

拡張データ編集 (Extended Parsing) 設定マストバースコードを常に印刷したい場合は、チェックします。通常運用では、使用しない機能なので、チェックを外した状態でご利用ください。

## Tools メニュー

### Bitmap Editor

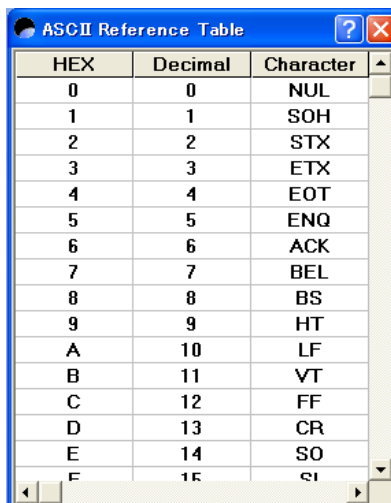
任意バイトの値を変更するツールです。誤動作の原因となりますので、通常運用では、使用しないでください。





## ASCII Character Reference

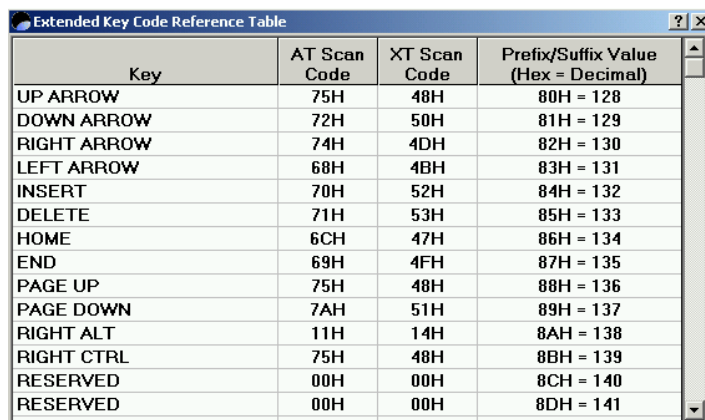
ASCII コード表を表示します。



HEX	Decimal	Character
0	0	NUL
1	1	SOH
2	2	STX
3	3	ETX
4	4	EOT
5	5	ENQ
6	6	ACK
7	7	BEL
8	8	BS
9	9	HT
A	10	LF
B	11	VT
C	12	FF
D	13	CR
E	14	SO
F	15	SI

## Extended Key Code Reference

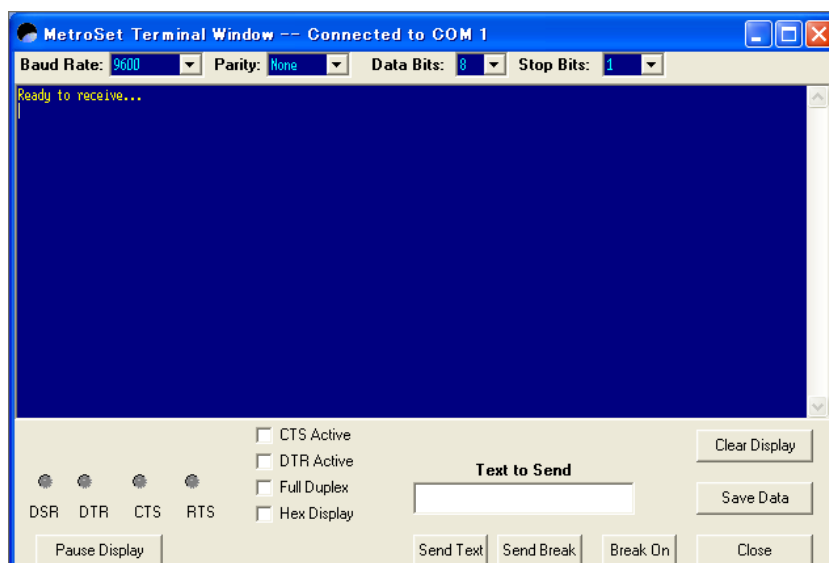
AT/XT キーボード用に割り当てられている拡張キーコード表を表示します。



Key	AT Scan Code	XT Scan Code	Prefix/Suffix Value (Hex = Decimal)
UP ARROW	75H	48H	80H = 128
DOWN ARROW	72H	50H	81H = 129
RIGHT ARROW	74H	4DH	82H = 130
LEFT ARROW	68H	4BH	83H = 131
INSERT	70H	52H	84H = 132
DELETE	71H	53H	85H = 133
HOME	6CH	47H	86H = 134
END	69H	4FH	87H = 135
PAGE UP	75H	48H	88H = 136
PAGE DOWN	7AH	51H	89H = 137
RIGHT ALT	11H	14H	8AH = 138
RIGHT CTRL	75H	48H	8BH = 139
RESERVED	00H	00H	8CH = 140
RESERVED	00H	00H	8DH = 141

## Terminal Window

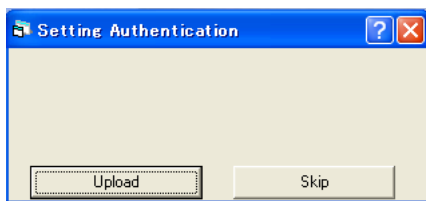
ターミナルを起動します。シリアルポート受信データのモニタやテキストの送信が行えます。



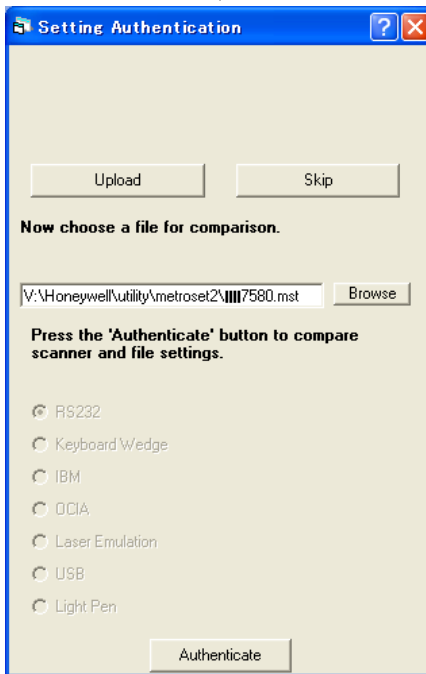
## Authenticate Settings

リーダの設定と指定の設定ファイルの内容を比較し、相違点をチェックする機能です。

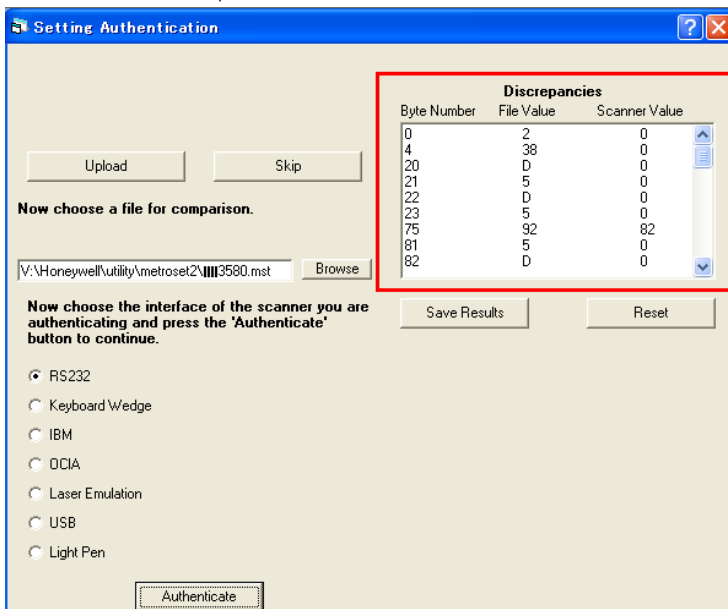
比較を行いたいリーダの設定を「Upload」ボタンをクリックしてアップロードします。既にアップロード済みの場合は、「Skip」ボタンをクリックして次へ進みます。



「Browse」ボタンをクリックして比較対照となる設定ファイルを指定し、「Authenticate」ボタンをクリックして、チェックを開始します。

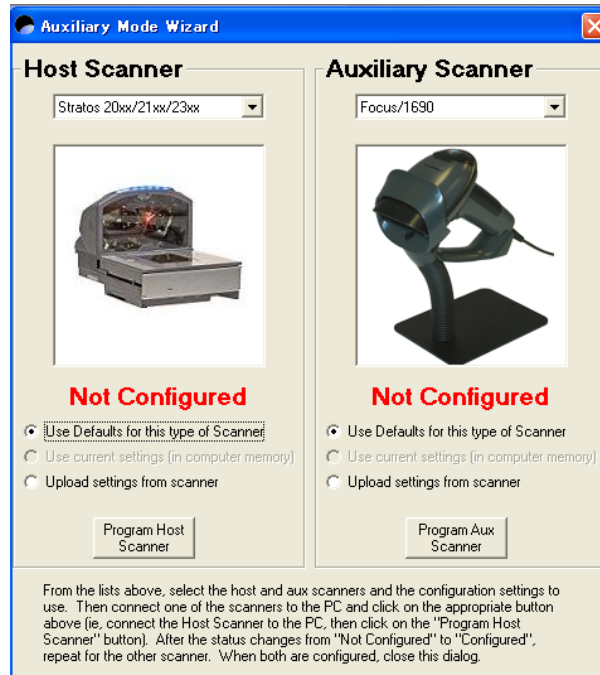


相違点が見つかった場合は、そのアドレスと値を画面にリスト表示します。



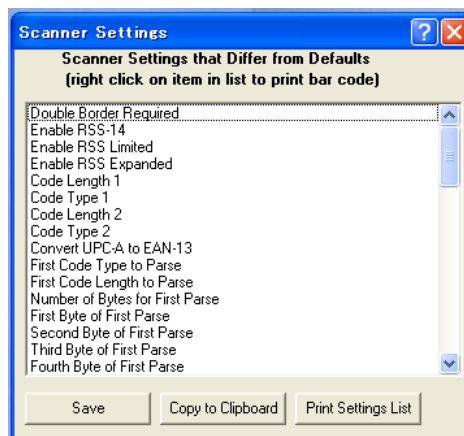
## Auxiliary Mode Setup Wizard

AUX ホートを利用したパスル接続を行うホトリダと AUX リダの設定を行います。



## View Current Setting


編集集中の設定とデフォルト値を比較し、相違点をリスト表示します。相違点リストは、保存「Save」・クリップボードへコピー「Copy to Clipboard」・印刷「Print Settings List」することができます。




 **Upload**  
リダから設定をアップロードします。

 **Download**  
編集集中の設定をリダにダウンロードします。

 **Download All**  
編集集中の設定を複数 Com ホートに接続している全てのリダにダウンロードします。

 **Global Defaults**  
編集集中の設定をリダのデフォルト値に戻します。

 **Screen Defaults**  
編集集中のウィンドウをデフォルト値に戻します。

## 2.2.2. 設定項目

MS7580 Genesis を元に設定項目の簡単な説明を行います。

Scanner Functions

Operations

Interface

RS232

USB

Keyboard/Wedge

IBM/48XX

Host Controls

Beeper/LED

Delay/Range Options

Serial Number

Misc

Modes of Operation

Code Types

UPC/EAN

Code Supplements

Code 39/93

I2of5

Code 128

Codabar

MSI/UK Plessey

Code 11/Telepen

Databar (RSS)

PDF

DataMatrix

Other 2D symbologies

MicroQR

Misc/Code Length

OCR

Data Formatting

Prefix/Suffix's

Code ID's

User Defined Pre/Suf

Character Replacement

CodeSelect

Auxiliary Mode Setup

ISBT Options

Data Parsing

Extended Parsing

Reserved Codes

TotalFreedom Plugins

Easy ID

Utilities

RS232/Virtual Com(USB)

Flash Main Processor

Flash Co-Processor

DFU (USB)

Flash Main Processor

Flash Co-Processor

Upload Configuration

Download Configuration

インターフェイスの設定を行います。設定を行いたいインターフェイスをクリックするとその設定ウィンドウが開きます。

Full Speed USB Options

USB Communications

Options

Internal

External

Mode

IBM OEM USB Handheld Scanner 4B

IBM OEM USB Tabletop Scanner 4A

IBM OEM USB Tabletop Scanner 4A/ Scale 6E

POS USB 2 (bi-directional)

Keyboard (HID)

Reserved

3rd Generation Co-Processor Framing

Current Interface

読取バーコード・2次元コード・OCRの設定を行います。設定を行いたいコード種をクリックするとその設定ウィンドウが開きます。

UPC/EAN Options

Enable all UPC/EAN

Enable GTIN Formatting

EAN-8

Enable EAN-8

Transmit EAN-8 check digit

Convert EAN-8 to EAN-13

UPC-A

Enable UPC-A

Convert UPC-A to EAN-13

Transmit UPC-A check digit

Transmit UPC-A number system

Transmit UPC-A m/n ID

Transmit UPC-A item ID

UPC-E

Enable UPC-E

Expand UPC-E

Transmit UPC-E leading zero

Transmit UPC-E check digit

Allow Codes with Short Borders

EAN-13

Enable EAN-13

Transmit EAN-13 check digit

データフォーマットに関する設定を行います。設定を行いたい項目をクリックするとその設定ウィンドウが開きます。

Prefix/Suffix Characters

Prefix/Suffix Characters

STX prefix

TAB prefix

Metrologic prefix ID string

Reserved (167.7)

Reserved (167.6)

Reserved (167.4)

ETX suffix

TAB suffix

Carriage Return Suffix

Line Feed suffix

Reserved (167.5)

LRC Error Checking

Transmit LRC

Start LRC on first byte

Start LRC on second byte

Miscellaneous

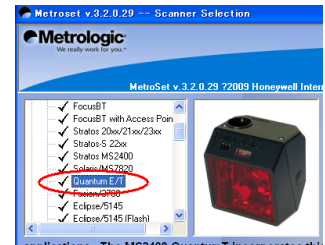
Strip Leading Zeros

各種ユーティリティです。通常は使用しません。

## 2.3. 設定してみましょう

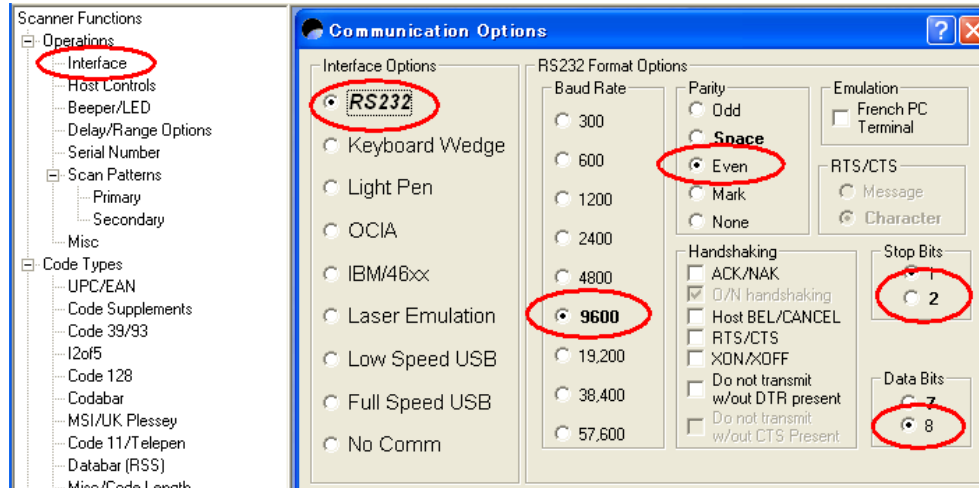
ここでは、MS3580 QuantumT を使って、以下の設定を行ってみましょう。

インターフェイス : RS232C インターフェイス 9600bps/8/E/1  
 書籍 2 段 JAN コード : 読み取り有り (978/192)  
 新雑誌コード : 読み取り有り (491+70 が必要)  
 書籍 2 段 JAN コード送信フォーマット : F9784062748681, F1920193005141 <CR>  
 その他読取データの送信フォーマット : 123456 <CR>



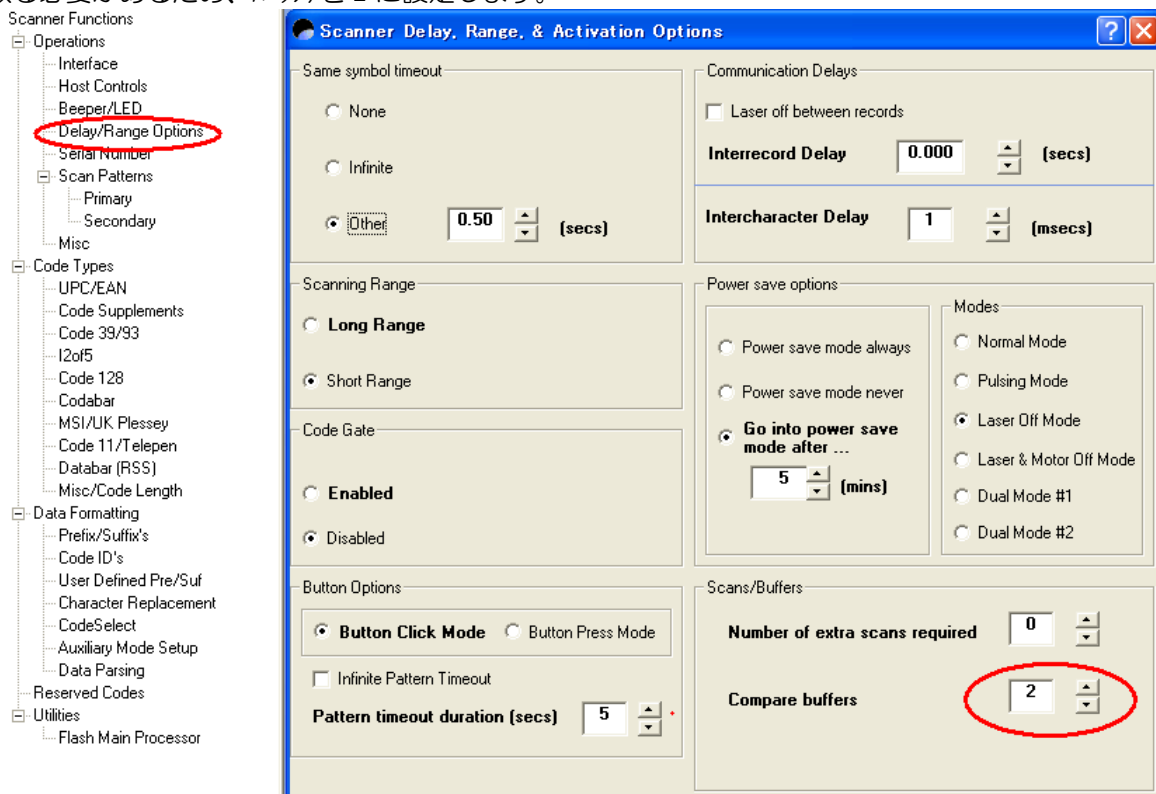
### インターフェイスの設定

Interface をクリックして、設定ウィンドウを表示し、下記のように設定します。



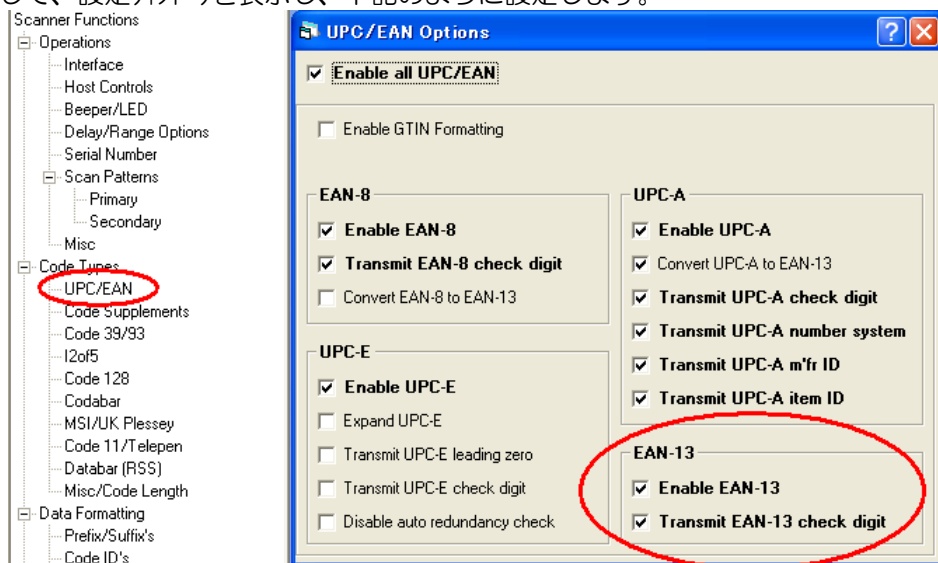
### バッファの設定

Delay/Range Options をクリックして、設定ウィンドウを表示し、下記のように設定します。書籍 2 段 JAN コードを一括で読み取る必要があるため、バッファを 2 に設定します。



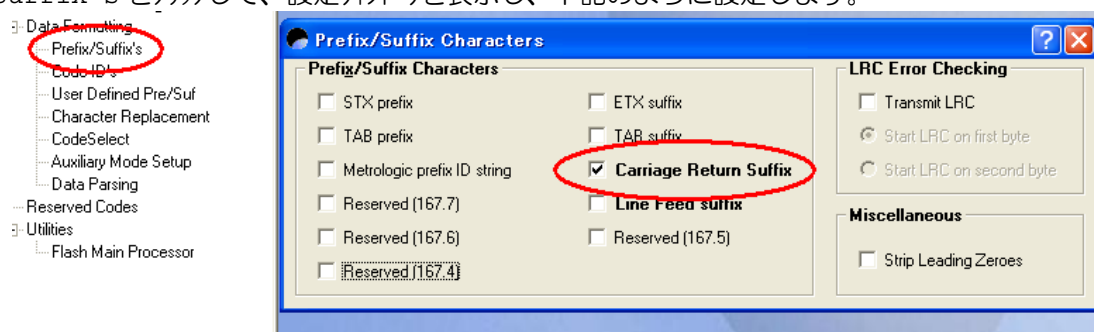
## JAN13 の設定

UPC/EAN をクリックして、設定ウィンドウを表示し、下記のように設定します。



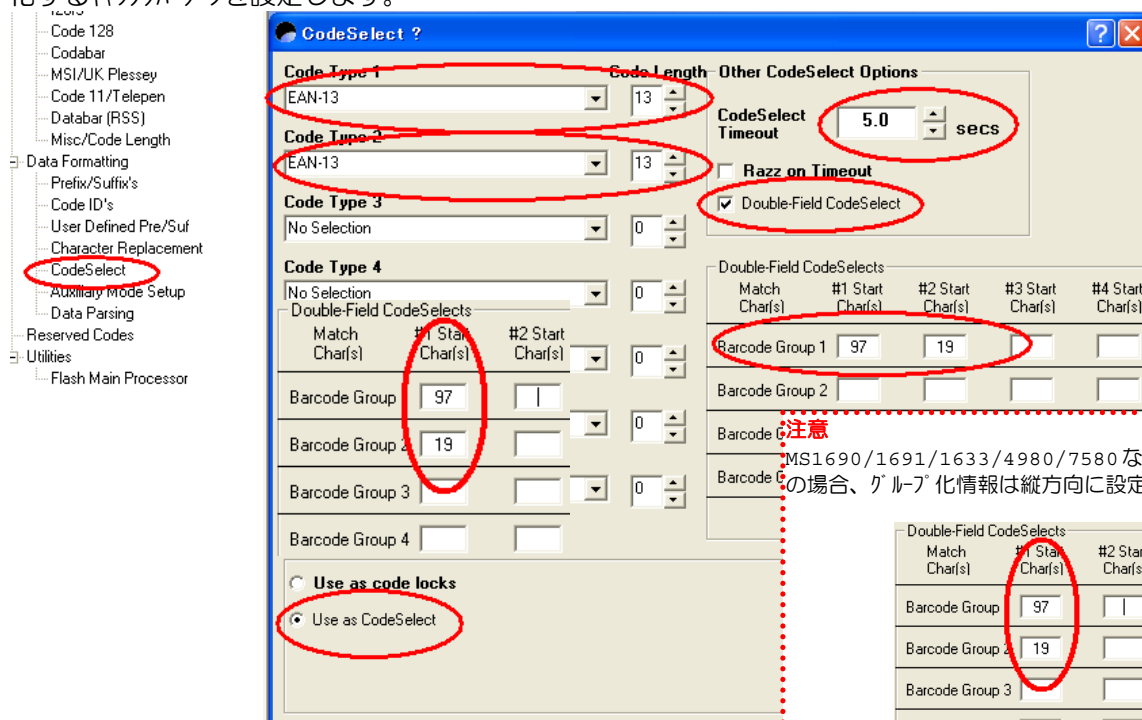
## フィックスの設定

Prefix/Suffix's をクリックして、設定ウィンドウを表示し、下記のように設定します。



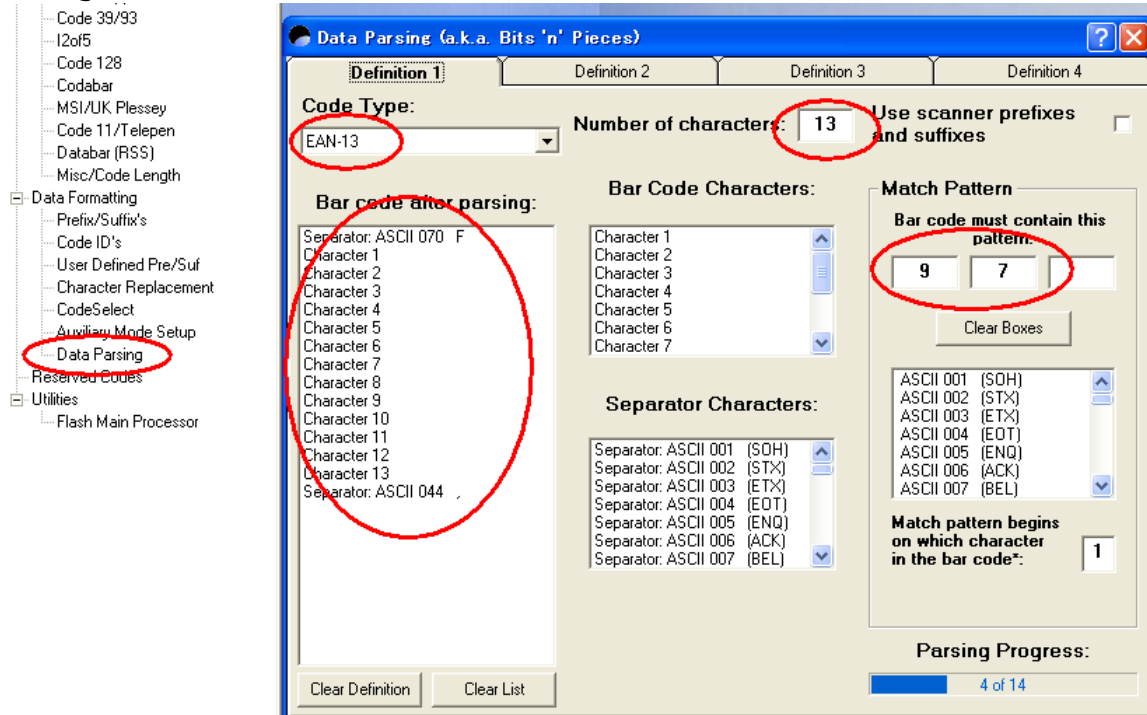
## コード 2 以外の設定

CodeSelect をクリックして、設定ウィンドウを表示し、下記のように設定します。Code Type でコード種、Barcode Group でグループ化するキャラクターを設定します。

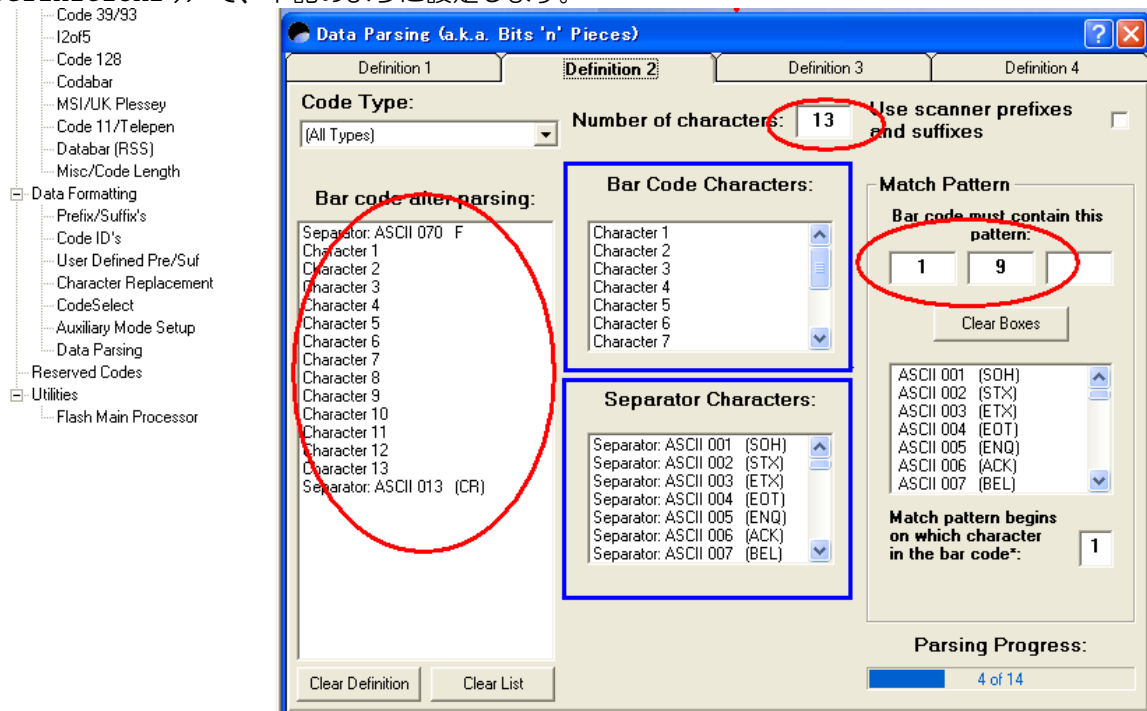


## データ編集の設定

Data Parsing をクリックして、設定ウィンドウを表示し、Definition1 タブで、下記のように設定します。



続いて Definition2 タブで、下記のように設定します。



### Code Type

対象とするコード種を指定します。

### Number of Characters

対象とするデータ桁数を指定します。

### Use scanner prefixes and suffixes

データ編集後のデータ送信の際に、設定されているプリフィックス/サフィックスを付加する場合は、チェックを入れます。

## Match Pattern

### Bar code must contain this pattern

対象とするデータに含まれなければならないキャラクタを指定します。制御コードを指定する場合は、下にあるリストボックスから選択して、ドラッグ & ドロップします。

## Match pattern

### Match pattern begins on which character in the barcode

先のキャラクタの照合開始位置を指定します。

## Bar code after parsing

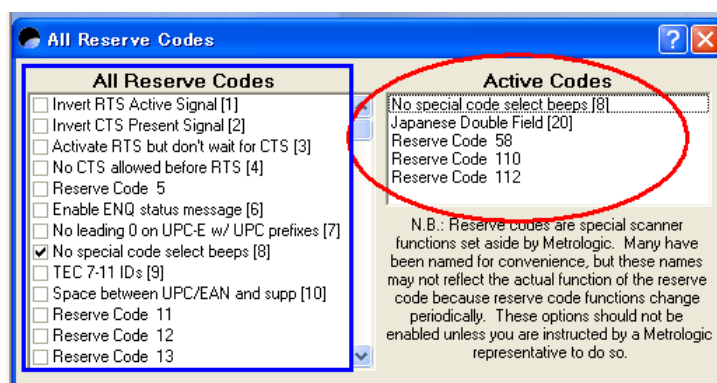
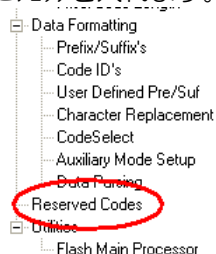
データの送信順序を指定します。読取データのキャラクタ指定は **Bar code Characters** から、固定のキャラクタや制御コードは **Separator Characters** から送信したい順番にドラッグ & ドロップします。

## 送信順序

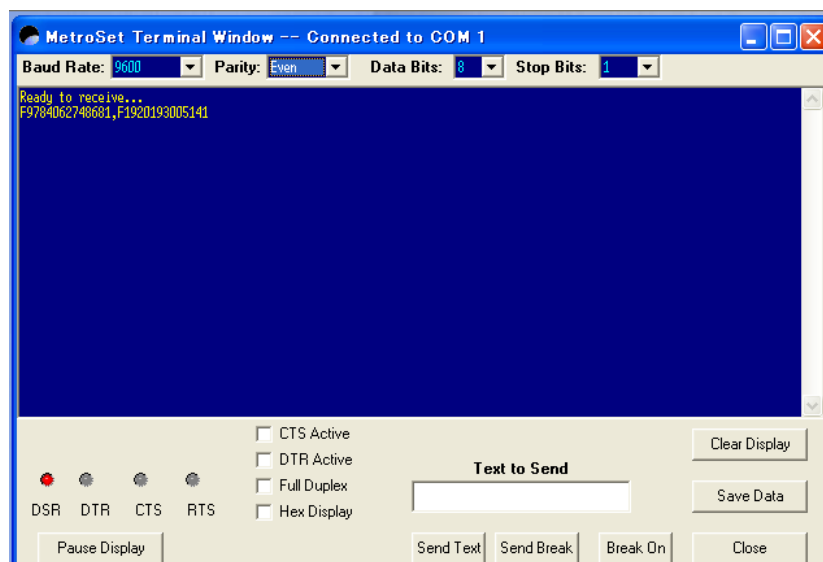
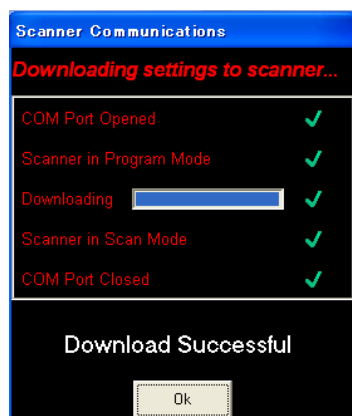
データ編集後のデータは、Definition1 桁 → Definition2 桁 ... → Definition4 桁 の順で行われます。

## 予約済み特殊コードの設定

Reserved Codes をクリックして、設定ウィンドウを表示し、All Reserved Codes から下記のコード番号 8, 20, 58, 110, 112 にチェックを入れます。



これで設定は完了です。Download ボタンをクリックして、リーダーに設定をダウンロードするか、設定コマンドバーコードを印刷して、順番にリーダーで読み取って設定を行ってください。設定が完了すれば、ターミナルウィンドウを開き、リーダーが設定通りに動作するかを確認してみてください。





Blank page